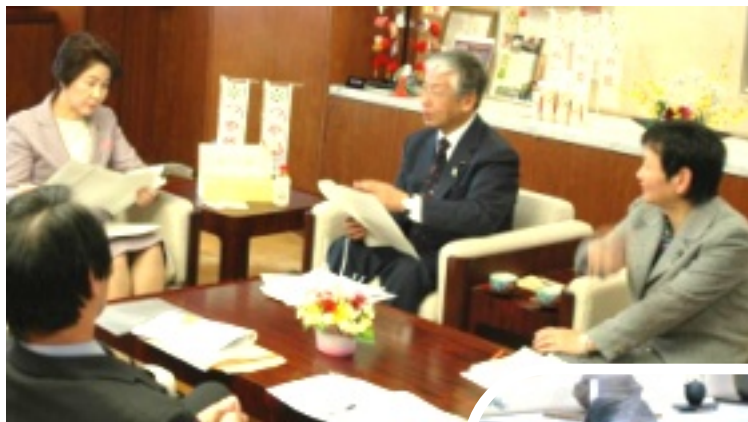


くらしと命まもる

子ども医療費無料化、住宅リフォーム助成制度など

知事到来年度予算要望



日本共産党山形県委員会と党県議団は、12月16日、2011年度の予算要望書を吉村美栄子知事に提出し、懇談しました(写真)。

懇談した要望事項は、最低賃金を時給1000円以上に引き上げるとともに中小企業対策を国に求める、子どもの医療費無料化を国に要望し、県は所得制限なしで中学まで無料化を目指し、当面小学生(通院)に拡大し



2010年12月26日 第111号

発行 日本共産党県議会議員 渡辺 ゆり子

<連絡先>
 日本共産党県議団執務室
 電話 023-630-3241(受付)
 自宅：山形市青田2-10-5
 電話 023-642-2365



一部負担金をなくす、国民健康保険税の国庫負担率引き上げを国に求め、県単位の広域化に反対する、住宅リフォーム助成制度創設にあたって、地元業者に限定し使い勝手のいい制度とする、私学助成の一般補助金、

授業料軽減補助を拡充するの5点です。吉村知事は、「子どもの医療費支援は国としてやるべきだと要望していききたい。山形県は近隣に比べ充実しているが、これからも検討していかなければならない」と答えました。また、国保については「県単位の広域化では解決しない。国民という名がついているのだから国が責任を持つべきだ。国へ主張していきたい」との認識を示しました。



労働者派遣法抜本改正求める意見書

県労連が請願 本会議で全会一致採択

党県議団が紹介議員となつて県労連が提出した請願が9日の厚生労働環境常任委員会で採択され、17日の本会議では全会一致で意見

書が採択されました。意見書は、厳しい雇用情勢を改善し、雇用の安定化を図るため、製造業派遣や登録型派遣を原則禁止すると

もに、みなし雇用や均等待遇を確立するなど、労働者派遣法の抜本改正を速やかに実施するよう強く要望するとしています。

福祉施設への指定管理者やめよ

17日、県議会は全議案を議決して終了しました。私は、福祉施設の指定管理者指定に関する2議案に反対討論を行いました。

「指定管理者制度は、効率化や経費削減を目的としており、矛盾が出ています。」

と連携できるように協議している」と答えました。新年度予算は、来年2月下旬から開催される県

議会定例会に提案されます。党県議団は、引き続き要求実現に力を尽くします。

県議会の日程

閉会中委員会審査
 1月20日(木) 各常任委員会(継続請願審査など)
 1月21日(金) 各特別委員会

県議会2月定例会
 2月21日頃から3月半ばまで開催の見通しです。



市田忠義書記局長

日本共産党演説会が開かれます

2月20日(日) 午後2時開会
 県民会館大ホール

市田忠義書記局長・参院議員が弁士として山形へ駆けつけます。私・渡辺ゆり子は、県政についてお話しします。ぜひ、お誘いあわせのうえ、おいで下さい。

ゆり子の視点

2010年から2011年へ

変化が激しかった一年も、あとわずかです。政治の分野では、参院選を経て政権党へのガツガツ感が広がっていることを感じています。県政・市政への影響も大です。「無縁社会」などという言葉が飛び交った年でしたが、「強いものだけが勝ち抜いていけばよい」という考え方の矛盾が浮きぼりになりました。政治の責任は、大きいと思います。2011年は、多くの人が、新しい関係や絆をつくり支えあえる社会を、そしてそれを進める政治にするために、皆さんと力を合わせて歩んでいきたいと思っています。2010年、皆さん、ご協力ありがとうございました。2011年も、よろしくお祈りします。

